

## 「危険性の視覚化(見える安全活動)」実施状況

工事名	安中太陽光発電所建設工事
見える化活動内容	重機作業エリア内での作業員の視認性向上

(説明)

大規模造成工事の現場では大型重機が何十台と稼働している。大型重機の運転席からの視界は、外から見るより想像以上に悪く、重機周囲はほとんど見ることができない。そのため、測量作業員等が重機作業エリア内で作業する際に、重機に巻き込まれる重篤災害発生のおそれがある。そこで重機オペレーターがいち早く作業員を発見できるよう、昼間でも視認性の高い安全ベスト着用での作業をルールとして定めた。

通常的安全チョッキは、反射材やLED点滅灯により視認性を向上させるが、晴天の昼間ではその効果は低い。当現場で導入した全面蛍光色のチョッキは、晴天や曇天など天候に左右されずに視認性が高いため、重機オペレーターから見易いと好評を得た。

(添付図)



【測量作業状況】



【逆光での視認状況】



【蛍光チョッキ着用状】

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする